

ひよこだより

No.2

和歌山ろう学校 幼児教室(ひよこ組) 令和6年 6月号

春は昼間と朝・夜の寒暖差で鼻水が出やすい時期でしたが、これからも水遊びやエアコンの使用で体が冷えます。0～2歳のこどもは、まだ免疫力が十分ではないので、風邪には気を付けたいですね。痛みや耳だれの症状がなくても中耳炎になっていることがあるので、お子さんの様子がいつもと違うなと感じた際には受診をしてみてくださいね。

5月 集団活動

小雨の予報で天候が心配されましたが、日が射す程よい天気となり中庭でしゃぼん玉遊びをすることができました。7家族が参加し、

ママやパパが吹いてくれたしゃぼん玉に興味を示し、手や足で「ぱちん」と壊したり、輪っかやうちわの骨組みをパタパタ振ってしゃぼん玉を飛ばしたりして遊びました。しゃぼん玉液をぱしゃぱしゃ泡立てる子、泡をすくって芝の上に置く子、息を強く吹きしゃぼん玉が割れるのを楽しむ子など、各々が遊び方を見つけて楽しむ姿が見られました。0歳児も、袋の中でしゃぼん液がもこもこ泡立つ様子に興味を示し、手を伸ばして関わる様子が見られました。ママやパパがお子さんに笑顔向け、丁寧に言葉がけをしながら関わっていたので、こどもたちが楽しく過ごす姿を見ることができました。ご家庭でも顔を見て、ゆっくりはっきりとお話をするを続けて下さい。

今回は、乳幼児きこえとことば相談の酒井さん、三反田さんも参加して下さいました。今後も連携を図りながら活動を進めていきたいと思っております。



保護者学習会

吉田校長先生より【言葉を育むために】【子育てで大切にしてほしいこと】のお話がありました。こどもと共感し、思いにぴったりの言葉を選びすぐって投げかけること。親の勘どころ、息の抜きどころを見極めて関わること。などを、保護者の方とやりとりをしながら具体的にお話させて頂きました。

学習会の後には、保護者同士で子育てや関わり方について悩みを共感し、話に花を咲かせました。横の繋がりができ、気軽に話ができる交流の場となりました。



夏の補聴器・人工内耳の管理について

梅雨の時期は雨で湿気が多くなり、夏場は汗をかきやすく、水遊びをする機会が多くなります。特に汗は水だけでなく塩分も含まれているので、電池や補聴器、人工内耳がさびたり、接触不良が起こったりしやすくなるため、管理はとても重要です。そのため、汗をかいた際は、補聴器や人工内耳をきれいに拭き取り、乾燥をさせて下さい。但し、直射日光や高温の車内などは避けて下さい。補聴器には汗カバーを着けることも効果的です。

水遊びの際は、補聴器や人工内耳を外し、乾燥ケースや通気性のよい袋に入れ室内で保管して下さい。人工内耳は、アクアプラスを使用すると装着したまま入水することができます。

水遊びの後は、耳の中や耳、髪の毛をしっかりと乾かしてから補聴器や人工内耳をつけて下さい。



1学期の予定変更について

7月 2日(火)保護者学習会「我が子の子育てを振り返って」
本校卒業生の保護者に、我が子の子育てについてお話を伺います。他学部の保護者の方も参加します。

それに伴い、

7月10日(水)に予定していた「幼稚部保護者との座談会」は9月に変更となりますので、ご了承ください。